

# 地域に根ざした循環型農業の展開と 建設労働力の温存

—有機性廃棄物分解機能—

## 農業生産法人（有）あぐり



幼稚園へ開放している  
緑肥（レンゲ）栽培の農地

舗装工事を主体とした企業が、縮小する建設市場での社員の雇用確保（技能工の温存）のため農業に着目し、「農業生産法人（有）あぐり」を設立。「無農薬・無化学肥料による循環型農業」の確立を目指し、地域の食品残渣、剪定枝を自社において堆肥化し、それを農地に還元して土づくりを行っている。

特別栽培による高付加価値米を生産し、インターネット販売のほか、地元のレストランやホテル、スーパーなど各方面へ直接販売している。



まききちょう  
愛媛県松前町



無農薬、無化学肥料で  
生産した「伊予あぐり米」

### 〔有機性廃棄物分解〕

地域の食品残渣や剪定枝等を堆肥化し、土づくりに利用する循環型農業を展開。化学合成農薬・化学肥料を使用せず、自社製有機肥料を使った特別栽培による高付加価値米の生産、販売、酒の製造等を行っている。

### 〔体験学習と教育〕

地域の中学校、高校、大学の体験学習及び研修を受け入れている。また、緑肥（レンゲ）農地を幼稚園へ解放している。なお、農業への進出により、自社の技能工の雇用維持を実現している。

### 〔洪水防止、土砂崩壊防止、土壌侵食防止、河川流況安定、地下水のかん養〕

高齢化により耕作が困難となった農地を借り受け水稻栽培を継続することで、耕作放棄が抑制され、各機能が発揮されている。



地域の剪定枝を自社において堆肥化



水田への堆肥投入



田植え時に雑草を抑制する紙マルチ敷設



肥培管理にリアルタイム土壌診断を活用